

2026年4月入学
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
(博士前期課程)

推薦入試 学生募集要項

出 願 期 間	2025年 6月9日(月)～ 6月11日(水)
試 験 日 程	2025年 7月12日(土)
合 格 者 発 表	2025年 7月25日(金) 10時
入 学 手 続	2026年 3月12日(木) 及び 3月13日(金)

※入試は、教員の所属する部門ごとに実施します。

P. 6 の専攻案内を参照し、志望指導教員の所属部門を確認してください。

出願書類提出・問い合わせ先

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 (工学部1号館1階)
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
TEL 086 (251) 7771
E-mail hs7771@adm.okayama-u.ac.jp

目 次

	ページ
1 募集人員	1
2 出願資格	1
3 障がい等のある方の出願	1
4 出願手続	1
5 受験票の交付	3
6 入学者選抜方法等	4
7 合格者発表	4
8 入学手続	4
9 その他	4
10 専攻案内	6

大学院課程教育における方針

(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディグリー・ポリシー)

ヘルスシステム統合科学研究科ホームページの下記URLをご覧ください。

アドミッション・ポリシー

https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/admission_policy/

カリキュラム・ポリシー

https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/curriculum_policy/

ディグリー・ポリシー

https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/degree_policy/

出願書類の請求方法

窓口で受け取る場合	8：30～17：00（土曜日・日曜日・祝日を除く）に「出願書類提出・問い合わせ先」へお越しく下さい。
郵送で請求する場合	封筒の表面に「大学院ヘルスシステム統合科学研究科 博士前期課程 推薦入試 出願書類請求」と朱書きし、以下を同封のうえ、「出願書類提出・問い合わせ先」あて申し込んでください。 ●返信用封筒〔角型2号（縦33.1cm×横24.0cm）〕 郵便切手180円分（※）を貼付し、送付先郵便番号、住所、氏名を明記したもの ●出願予定者の ・連絡先（電話番号及びメールアドレス） ・内諾を得られた（予定含む）本研究科の教員名 を明記したメモ （※）出願開始日の1週間前（6月2日）以降に請求する場合は、速達料金分の切手を追加して貼り付けてください。

2026年4月入学 博士前期課程 推薦入試 学生募集要項

1 募集人員

専 攻	募 集 人 員
ヘルスシステム統合科学専攻	15人程度

(注) 本選抜による募集人員は、ヘルスシステム統合科学専攻（80人）の内数とします。

2 出願資格

次の各号のすべてに該当する者

- (1) 2026年3月までに大学を卒業見込みの者又は高等専門学校の修業年限2年の専攻科を2026年3月に修了見込みの者であって、学校教育法第104条第7項の規定により2026年3月までに学士の学位を授与される見込みのもの
- (2) 学業成績及び人物ともに優れ、将来、志望する教育研究分野において貢献が期待できる者で、合格した際には入学を確約できるもの

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談期限 2025年 5月 8日(木)

相談方法 「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて、表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に相談してください。

4 出願手続

入学志願者は、出願前のなるべく早い時期に志望指導教員と必ず連絡を取り、研究内容等について相談してください。

(1) 出願期間

2025年 6月9日(月)～ 6月11日(水)

(2) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、窓口を持参又は出願期間内に必着するよう郵送してください。

持参する場合	受付時間(8:30～17:00)内に持参してください。
郵送する場合	「簡易書留・速達」とし、封筒の表面に「大学院ヘルスシステム統合科学研究科 博士前期課程 推薦入試 出願書類在中」と朱書きして郵送してください。

(3) 提出及び問い合わせ先

表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」へ提出・お問い合わせください。

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。

- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には、その日本語訳を添付してください。
- ⑥ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。
- ⑦ 通称がある方については、出願に必要な書類すべてにおいて、通称ではなく住民票に記載された氏名を記入してください。
- ⑧ 出願資格の確認のため、追加の出願書類の提出を求めることがあります。

（５）出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 志 願 票 受 験 票 写 真 票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。 縦 4 cm×横 3 cm、上半身、無帽、正面向きで出願前 3 か月以内に撮影した写真を「志願票」、「写真票」の所定欄ののりで貼り付けてください。 貼る前に、写真の裏面に志望教育研究分野名と氏名を記入してください。
② 入学検定料	3 0 , 0 0 0 円（手数料が別に必要です。） 出願期間最終日の 1 7 : 0 0 までに、下記「入学検定料支払の流れ」をご確認のうえ、「入学検定料支払サイト」よりお支払いください。 入学検定料の支払後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、所定用紙の所定欄へ貼付してください。なお、入学検定料の支払ができるのは、出願期間の 1 か月前からです。 【入学検定料支払の流れ】 https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/requirement/ 【入学検定料支払サイト】 https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn 上記による支払ができない場合は、「出願書類提出・問い合わせ先」にお問い合わせください。 【入学検定料の返還について】 次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 ウ 次の【入学検定料の免除について】に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合 【国費外国人留学生の入学志願者について】 国費外国人留学生の入学志願者は、原則として入学検定料の支払は不要ですが、2 0 2 6 年 3 月 3 1 日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の納入が必要です。 なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。 【入学検定料の免除について】 本学では、2 0 2 4 年 4 月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。 ※詳細については本学のホームページ (https://www.okayama-u.ac.jp) から、「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。

③ 学業成績証明書 及び 卒業見込証明書	在籍大学の学長又は学部長、あるいは高等専門学校長が作成したものを提出してください。 高等専門学校専攻科修了見込みの出願資格による入学志願者は、本科及び専攻科の学業成績証明書を提出してください。
④ 学士の学位授与 (申請) 証明書等	《高等専門学校専攻科修了見込みの出願資格による入学志願者のみ》 高等専門学校長が作成した次の証明書を提出してください。 ア 専攻科の修了見込証明書 イ 学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)
⑤ 志望理由書	本研究科ホームページからダウンロードした様式に志望の理由及び希望する研究について1,000字程度にまとめたもの。
⑥ 推 薦 書	本研究科ホームページからダウンロードした様式を使用してください。自己推薦も可。
⑦ 所 見 書	本研究科ホームページからダウンロードした様式を使用してください。 出身大学の指導教員等が作成し、厳封したもの。 なお、高等専門学校専攻科修了見込みの出願資格による入学志願者については、出身高等専門学校の指導教員等が作成し、厳封したもの。 ただし、学部長又は学校長により推薦された場合は提出不要。 また、本学教員による推薦書がある場合は提出不要。
⑧ 受験票等送付用 封筒	所定の封筒に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、410円分の切手を貼ってください。受験票を送付するのに使用します。
⑨ 連絡受信先シール	受信先住所等を記入してください。
⑩ 在留カードの コピー等	《現に日本国に在住する日本国籍以外の入学志願者のみ》 在留カードの両面コピー又は市区町村長の交付する住民票(写)の原本(国籍・在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。 ※通称がある方は「市区町村長の交付する住民票(写)の原本」を提出してください。
⑪ パスポートの コピー	《日本国外に在住する日本国籍以外の入学志願者のみ》 パスポートのコピー(氏名・国籍・顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
⑫ 国費外国人 留学生証明書	《国費外国人留学生の入学志願者のみ》 在籍する学校が作成する奨学金支給期間が明記された証明書でも可。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務情報システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

受験票は、2025年 6月18日(水)頃に本人あて発送します。

なお、6月27日(金)までに到着しない場合には、表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に連絡してください。

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問・面接及び書類審査の結果を総合して行います。
試験日程、試験内容及び試験場所は、次のとおりです。

試験日程	試験内容	試験場所
2025年 7月12日(土) 9:00～	口頭試問・面接	岡山大学工学部

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
2025年 7月25日(金) 10:00	工学部1号館前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/>
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は、合格者に別途通知します。

(2) 入学手続期間

2026年 3月12日(木) 及び 3月13日(金)

9 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定額)

授業料(前半期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

(3) 大本育英会給付奨学金(募集予定) ※博士後期課程(博士課程) 進学希望者

公益財団法人大本育英会では、岡山大学の博士後期課程(博士課程)の学生(日本国籍に限る)を対象として、年額180万円(予定)の給付型奨学金を設けています。支給期間は原則3年間で、博士前期課程(修士課程)1年次に予約採用の募集を行います。

大本育英会給付奨学金及びその他民間団体・地方公共団体の奨学金の募集内容については、岡山大学ホームページの「民間・地方公共団体の奨学金」で最新情報を確認してください。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-2.html

(4) 志願票等の記入方法について

記入に際しては、専攻案内で、志望する教育研究分野・研究内容・担当教員を参照してください。

(5) 受験上の注意事項

特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、又は試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、本研究科のホームページを確認するようにしてください。

<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp>

(6) 安全保障輸出管理について

岡山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「岡山大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等（日本国外からの奨学金を受給する日本人学生を含む）の受入に際し厳格な審査を実施しています。

「外国為替及び外国貿易法」等により規制されている事項に該当する場合は、入学を許可しない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があります。

参考（経済産業省ホームページ） <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

10 専攻案内

専 攻	講 座	部 門	教育研究分野
ヘルスシステム 統合科学専攻	ヘルスシステム 統合科学講座	バイオ・創薬	生体機能分子設計学
			1 分子生物化学
			細胞機能設計学
			無機バイオ材料工学
			生体分子工学
			オルガネラシステム工学
			蛋白質医用工学
			分子細胞工学
		医療機器医用材料	人間情報処理学
			医用情報ネットワーク学
			先端医用電子工学
			インタフェースシステム学
			認知神経科学
		ヘルスケア サイエンス	ヘルスシステムマネジメント学
			看護科学
			生体情報科学
			放射線健康支援科学
			生体機能再生再建医学
			医療技術臨床応用学
		ヒューマンケア イノベーション	日本文化論
			宗教人間文化論
			医事法学
			科学史技術論
			臨床死生学
			ソーシャルイノベーション論

参考に、本研究科教職員一覧をご覧ください。 <https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

注① 志望指導教員へ連絡される場合は、本研究科教職員一覧記載の連絡先又は以下の代表電話へお掛けください。

＜岡山市津島キャンパス＞ 代表電話 086（252）1111

＜岡山市鹿田キャンパス＞ 代表電話 086（223）7151

注② 次ページ以降に掲載のある教員は、授業のみ担当し研究指導を行わない場合もありますので、予め志望指導教員に連絡し、確認してください。

注③ 本専攻案内は、募集要項作成時点での予定のため、変更になることがあります。

ヘルスシステム統合科学専攻 ヘルスシステム統合科学講座

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所 属 教 員
バイオ・創薬	生体機能分子設計学	核酸結合タンパク質や酵素を始めとした、生体機能制御分子の機能解析及び得られた知見に基づいて設計した人工生体機能分子の医療・農業への応用を目指した異分野融合研究	世良 貴史 教授 森 友明 講師 森 光一 助教
	1 分子生物化学	タンパク質の機能解析及びその分子機構の解明，医療・環境科学への応用	☆ 井出 徹 教授 平野 美奈子 准教授 早川 徹 助教
	細胞機能設計学	細胞内シグナル伝達研究と創薬科学への応用	☆ 徳光 浩 教授 曲 正樹 助教 △ 大塚 里美 助教
	無機バイオ材料工学	無機材質を基本とした構造が精密に制御された医用材料の設計と応用に関する研究	早川 聡 教授 吉岡 朋彦 准教授 △ 片岡 卓也 助教
	生体分子工学	新規生体機能分子の設計に立脚し，主としてRNAの働きに着眼した生命工学・生命科学研究	大槻 高史 教授 渡邊 和則 准教授 △ 高原 茉莉 助教
	オルガネラシステム工学	細胞内オルガネラ形成や物質輸送制御の機序解明とその応用に関する研究	佐藤 あやの 教授
	蛋白質医用工学	蛋白質の効率的な生産・解析法の開発と医用工学分野への応用に関する研究	二見 淳一郎 教授 △ 宮本 愛 助教
	分子細胞工学	免疫細胞機能の分子レベルでの解明とその応用技術の開発	金山 直樹 准教授
医療機器医用材料	人間情報処理学	信号処理，確率統計理論，機械学習等に基づいて人間の視聴覚情報処理や行動を分析，モデル化すると共に，それらをサービスに応用する研究	相田 敏明 講師
	医用情報ネットワーク学	コンピュータネットワークや通信プロトコルの性能解析・評価法及び高信頼化・高機能化法とそれらの医用への応用	☆ 横平 徳美 教授 △ 三浦 秀芳 助教
	先端医用電子工学	バイオ・メディカル分野で重要なセンサデバイスを用いた各種計測技術，システム化及び信号処理設計に関する研究	紀和 利彦 教授 王 璿 准教授
	インタフェースシステム学	人間と協調したり人間の活動を支援するヒューマンコンピュータインタラクション技術，メディア認識・処理技術，ロボット技術とそれらの医療・介護システムへの応用に関する教育研究	中澤 篤志 教授
	認知神経科学	認知心理学とニューロンイメージング手法を用いたヒトの認知神経機能の解明及び医療福祉への応用に関する教育研究	楊 家家 教授 高橋 智 准教授 △ 横山 寛 助教

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所 属 教 員
ヘル ス ケ ア サ イ エ ン ス	ヘルスシステムマネジメント学	医療の臨床実践や新規治療法開発において、有限の人材、資源、資金を有効に利用し配分しながら、組織を構築し、戦略を立て、人材を動機づけていくための理論構築に関する研究	渡邊 豊彦 教授＊
	看護科学	災害時の保健・医療・公衆衛生・福祉の戦略的対応を可能にするミクロからマクロまでの組織構築に関する研究、および支援者支援に関する研究	原田 奈穂子 教授＊
	生体情報科学	生体情報を正しく計測・処理する技術およびその解析・評価法、さらに得られた情報、データベース等に基づいた社会での活用に関する教育研究	森田 瑞樹 教授＊
	放射線健康支援科学	医療分野における放射線の物理計測・評価技術の開発応用や生体への治療効果・副作用など予測シミュレーションに関する研究	笈田 将皇 准教授＊
	生体機能再生再建医学	医工連携による機器開発と評価、視覚に係る臨床研究、社会や医療における視覚の役割に関する研究	☆ 松尾 俊彦 教授＊
	医療技術臨床応用学	ナノテクノロジーを用いた医薬品などを、実際の疾患治療に活用する際の、疾患知見を踏まえ血管や繊維組織を中心とした生物学的な反応解析研究、または、医療データによる疫学的な解析研究	狩野 光伸 教授
ヒ ュ ー マ ン ケ ア イ ノ ベ ー シ ョ ン	日本文化論	医療・ケアの現場に根ざした東アジア・日本の老年観・死生観を中心とした研究	本村 昌文 教授
	宗教人間文化論	人間の生と死や身体と魂（精神）の関係についての思想的・宗教学的的研究	袴田 玲 准教授
	医事法学	医療現場に生起する法的諸課題を医療行為と医療制度の両面から把握・分析したうえで、解決策を提示し得る人材の養成を志向する教育研究	穴戸 圭介 教授
	科学史技術論	ケアにかかわる科学技術の発展と高齢化諸問題との関連やあり方に関する研究	吉葉 恭行 教授 △ 古俣 めぐみ 助教
	臨床死生学	医療・ケア現場における死生に関する課題と、問題解決のための理論・具体的方法のあり方の臨床死生学的な研究	日笠 晴香 准教授
	ソーシャルイノベーション論	医療・ケア現場における多様な課題に対する技術革新および社会イノベーションの開発・適用に関する教育研究	藤井 大児 教授

注 1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注 2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

注 3) ＊印は、鹿田キャンパスの教員です。